



議会だより

No. 66

2021年5月1日発行

発行責任者：南魚沼市議会議長 小澤 実
編集：議会広報編集特別委員会

一般質問録画映像の配信をしています！



春の牧之通り

目次

令和3年第1回臨時会の概要／議決結果	2ページ
令和2年度一般会計補正予算／その他議案審議	3ページ
令和3年度一般会計予算審議	4～5ページ
令和3年度一般会計予算修正案の提出／討論	6ページ
令和3年度特別・企業会計予算審議、請願審査	7ページ
3月定例会議決結果	8～9ページ
一般質問 17名が市政を質す	10～18ページ
各常任委員会報告	19ページ
6月定例会の予定	20ページ

令和3年 第1回臨時会 の概要

2月16日に臨時会が開かれました。
一般会計補正予算の審議が行われました。

令和2年度 南魚沼市一般会計補正予算（第11号、第12号）
6億8,276万8,000円を追加し、**410億7,907万2,000円**に

質疑応答

Q & Aは一部のみを掲載しています。

〔補正予算(第11号)〕

● 機械除雪費 2億9,500円

Q 今後の除雪体制の方針は。

A 消雪パイプは更新に負担がかかるため、機械除雪を中心に交通確保を図っていく。ただ、オペレーター不足は今後の課題である。オペレーター確保の活動を続けていく。

Q この度の集中降雪時に、当市は、なぜ災害救助法が適用にならなかったのか。

A 災害救助法の適用は、市の判断ではなく、県が明確な基準をもとに判断し、国が決定するものである。ただ現在の基準を見直す必要があると考えている。

● 予防対策事業費 3億2,275万円

Q 新型コロナウイルス準備室の体制は。

A 準備室は専任職員4名、兼任職員4名の8名。さらに保健課の保健師と事務職の計8名が準備室を支援する体制となっている。

Q 接種方法は。

A 医療従事者は、名簿を作成し、県に提出すると、県から接種する医療機関が指定される。16歳以上の市民は、12地区会場による集団接種と医療機関委

託接種の2方法。3月から接種券を郵送し、4月下旬から高齢者より順次接種していく予定である。高齢者施設の入居者は、施設で接種できるように検討している。その際、施設従事者にも同時に接種を考えている。

〔補正予算(第12号)〕

● 予防対策事業費 6,001万円

Q 接種意向調査員とは。

A 要配慮高齢者に、直接訪問して説明し、接種するかどうか確認をする。意向確認が難しい時には医師や保健師、ケアマネ、保佐人等と連携を取る。

Q 車両購入とあるが。

A ワゴン車3台である。ワグチンの輸送やバス移動が困難な方を移送するため、利用頻度が高くなると判断し、レンタルやリースではなく購入することにした。またワグチン接種の終了後は、医療福祉車両として利用する予定である。

債務負担行為補正

● 観光事業支援補助金 3,000万円

Q 支援の内容は。

A 観光事業者が毎年納めている観光協会費1年分を全額補助し、経済の回復を図る。

令和3年 第1回臨時会 全議決結果

議案番号	市長提出議案	議決結果
第1号報告	専決処分した事件の承認について（令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第11号））	承認（全会一致）
第1号議案	令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第12号）	可決（全会一致）
第2号議案	工事請負変更契約の締結について（解体第1号旧大巻小学校解体工事）	可決（全会一致）

3月定例会 の概要

本会議は3月1日～19日に開かれました。
委員会審査報告は7ページをご覧ください。
議決結果は8～9ページに記載しています。

令和2年度 南魚沼市一般会計補正予算（第13号、第14号、第15号）
23億6,493万7,000円を追加し、**434億4,400万9,000円**に

質疑応答

Q & Aは一部のみを掲載しています。

〔補正予算(第14号)〕

●生活保護扶助費

△6,000万円

Q 過去最多の相談件数があったとの説明だが、生活保護費（生活扶助）が600万円の減額になるのはなぜか。

A 生活保護の対象者は増えているが、対象者にほかの収入が見込まれ、ひと月当たりの扶助費が3～4千円の減額になっているために、総額でも減額になっている。

●生活保護費（介護扶助）の350万円を追加することだが、増加傾向については何が原因か。

A 介護扶助サービスを受けている人々の高齢化により、対象者も増えているものと思われる。

●土地売却収入

2,092万円

Q 長森保育園の跡地の売却額が2,092万円とあるが、その売却面積はどれくらいであったか。

A 売却面積は約2,250平方メートルで、事業用の倉庫を予定していることである。

その他議案 質疑応答

Q & Aは一部のみを掲載しています。

第17号議案 南魚沼市無電柱化推進基金条例の制定について

Q なぜ条例制定が必要なのか。

A 企業版ふるさと納税によって2路線の無電柱化を進めるため、寄附者の都合で令和2年度中に寄附を受けなければならぬ。

Q 今後市として継続していく事業なのか。また事業費は。

A 予定している2路線のみで継続の予定はない。事業費は8,000万円を予定している。

Q 市の負担はないのか。

A 国の補助を受けるが、市の負担はない。

第36号議案 浦佐認定こども園の指定管理者の指定について

Q 公私連携での運営になるものと思っていたが、再度指定管理になった理由と、3年のうちでも合意ができれば移行する予定なのか。

A 建物の修繕費などの負担について、話し合いがまとまらなかった。指定期間中であっても合意ができれば移行する予定。

Q 補助金収入のうち市が独自に出している金額があるのか。

A 外国籍児が多いため臨時の保育士1人分200万円強が出ている。

Q 市内には私立の事業者もほかにいるので、平等に声を掛けてはどうか。

A 私立はそれぞれ独自の方針で運営していて、保護者がそこに共感して預けている面もあるので、現在の指定管理者に移行していくのがふさわしい。

令和3年度 南魚沼市一般会計当初予算

305億6,000万円 (前年比1.1%増)

※質疑応答は一部のみ掲載しています。

(詳細は市報5月1日号をご覧ください。)

★新型コロナウイルス感染症関連事業

● 商工業振興補助事業費

3,050万円

・新しい生活様式店舗等環境整備補助金……………1,000万円

Q 制度は決まっているか。

A 詳細は、現在策定中である。多くの方から気軽に使っていただきたい。内容は空気清浄機や設備を含めたい。

● 企業対策事業費

1,800万円

・南魚沼市雇用促進補助金(新型コロナウイルス関連)……………1,500万円

Q 南魚沼市民のみに適用されるのか。

A 南魚沼市の企業に採用され、交付申請時、住民登録がなされていれば、現在南魚沼市民でなくてもよい。

● 生活保護扶助費

3億5,052万円

Q 新型コロナウイルス感染症の影響の中、対応できる予算か。

A 昨年の実績での傾向から、この予算でいけるだろうと思っている。

歳入

Q 大変厳しい状況だが、市民税のうち個人分と法人分の見直しは。

A 新型コロナウイルス感染症の影響の見直しは難しい。特に個人分は所得が確定していないので難しい。法人はアンケートを行っているので、ある程度見直しは立つ。

Q アンケートを取った11法人の法人税収に占める割合は。

A 11法人で全体の50%を超える額である。

Q 財産売払収入を増やすため、遊休地等の定期的な販売はできないか。

A 定期的な販売はできないが、適切な時期に市報やウェブサイトに掲載していく。

Q 市内からふるさと納税で出て行っている税額はいくらか。

A 寄附金控除の正確な数字は把握していないが、3,800万円程度である。



歳出

① 保健・医療・福祉

● 高齢者生活支援事業費

3,423万円

Q 高齢者及び要配慮世帯住宅除雪援助委託料1,000万円とあるが、今年の集中降雪では、対応する業者は足りたのか。

A 今年度のような降り方では足りない場合もある。当面はとにかく業者をお願いするしかない状況である。

● 介護人材確保緊急5か年事業費

1,800万円

Q 介護人材新規・移住定住就職支援金は、すぐに辞めては困るので就職1年後の支給が良いと思うかどうか。

A 早く支給した方が効果的と考えている。1年以上の継続の条件を付けており、1年以内で辞めた場合、返還もある。

● 不妊治療医療費助成事業費

450万円

Q 不妊検査費用の支給も重要と思うが、どのような視点で考えているか。

A 検査については検討していなかった。国の保険適用情報もあるので情勢を見ていく。

② 教育・文化

● 小学校設備等整備事業費

1億6,398万円

Q GIGAスクール構想の進捗が遅いように思われるが、具体的にいつ頃から始められるのか。

A いつ頃何台入ってくるか、まだ固めきれない状況である。まずはモデル校の中で動かしてみてもどのような課題があるか抽出してみる。早急に進めたいと思っている。

● 通学バス等運行事業費

1億3,422万円

Q 金額が、大和・六日町・塩沢地域で毎年変動しているが理由は。

A 児童数が変わるので、路線の見直しも含めて行っている。三密を避けるため増便も予定している。

③ 環境共生

● 新エネルギー等普及促進事業費

100万円

Q 雪冷熱エネルギー活用研究委託料とあるが具体的な内容は。

A 新しいエネルギーの模索であり、大学等様々なところと提携しながら産業化および公共にも役立つさせる研究で、100万円はその第一歩である。

● 可燃ごみ処理施設整備事業費

5億731万円

Q 施設修繕工事が1億6,000万円も増えているが今後の修繕費の予想は。

A 最初の数年間は少し大がかりになるが、その中でも絞って今の予算に反映させている。

④ 都市基盤

● 機械除雪費

7億4,505万円

Q 再度除雪路線の見直しの予定は。

A 平成29年の見直しは、地元の反対もあり提案の半分しか実現しなかった。継続的に考えていく必要がある。除雪車の配置やバランスで費用の削減になることもあり、精査して進めたい。

● 市営住宅総合改善事業費

1,783万円

Q 今年度中に完成予定の長寿命化計画に基づいて行われるのか。

A 長寿命化計画に基づいて行う予定である。前半の10年は、木造で除却が必要な住宅、旧耐震で簡易構造の建物の解体を進めていきたい。

⑤ 産業振興

● 商工業振興補助事業費

3,050万円

Q 店舗バリアフリー改装補助金の利用店舗数は。

A 令和2年は、6件の利用があり

全て飲食業である。内容としてはトイレ改修が多いが、玄関改修等にも使われている。

● 農林業有害鳥獣被害対策事業費

871万円

Q イノシシ出没数と被害は、実際どれくらいか。

A 何頭出たかの細かい数字は出ていないが、被害額は平成30年度は74万円、令和元年度は120万円、今年度はまだ集計されていないが、圧倒的に増えている。

● 県営事業負担金

4,000万円

Q 前年度予算に対し半額の予算となっているが、内容は。

A 3月補正予算により前倒しとなったため、令和3年度当初予算が少なくなった。今後、補正の状況を見ながら対応する。

⑥ 行財政改革・市民参画

● 雪資源活用事業費

4,085万円

Q 職員旅費の内容と、雪の魅力発信業務委託料の内訳は。

A 職員旅費は、オリンピック開催中は15泊以上になる。さいたま市で行われるサッカーとバスケットボール会場で、雪の冷熱源のPRを行う。そのほか渋谷区や江戸川区からも要請がある。

● マイナンバーカード交付事業費

5,224万円

Q 事業費が増えているが、どのような対応になるのか。確定申告等で成果があるのか。

A 会計年度任用職員を6人から10人に増やし、パソコンも5台から9台に増やして対応する。市報等でカードを使った申告ができることを広報している。

● 市議会議員選挙費

3,645万円

Q 公費負担は葉書の郵送とポスター代だが、ほかの経費にも増やす考えはないか。

A 当初予算にはあげてないが、立候補の機会均等のためには必要だと思う。秋までに考える。

● 消防通信指令装置更新事業費

5,500万円

Q ネット119で聴覚障がい者にとっていった対応ができるのか。

A 事前登録が、必要だがスマートフォン等で、チャット形式で通報を行えるようになり、聴覚に障がいがある方、喋れない方も通報できるようになる。

● 消防団運営費

1億4,298万円

Q 消防団員活動服等購入費について無償給付なのか。

A 全て貸与である。退団後は返却してもらい、使えるものは再利用している。

一般会計予算に対する修正案が提出されました

◎提出者・寺口友彦
◎賛成者・佐藤 剛、田中せつ子、梅沢道男

歳入

繰入金を2,597万5千円減額し、諸収入を1,487万5千円減額する。

歳出

総務費の雪資源活用事業費4,085万円全額を削る。

提案理由

- ① 新型コロナウイルス感染症予防を優先する。1都3県の緊急事態宣言が延長され、変異株による感染が拡大する中で、1都3県との人的交流を極力避けるべきだ。
- ② 過去2回、関東へPRに出かけ、それで十分宣伝効果は上げた。新エネルギーとして雪冷熱活用に軸足を移すべきだ。
- ③ 雪冷熱を新エネルギーの調査・研究に着手するので、それに集中すべきだ。

賛成少数で否決

令和3年度

南魚沼市一般会計予算



修正案反対 原案反対

〔日本共産党議員団〕

長引くコロナに、基金繰入14億円で、暮らし応援予算を組めたかだ。借金336億円の償還42億円は荷物だ。PCR検査の拡充で経済効果が望める。

新ごみ施設建設は2市1町の合意を解消した。CO₂ゼロを念頭に、減量化等を市民の協力を得て練り直せ。

医療対策推進本部は大和病院、城内診療所、医師確保等をまとめる。現場の気概と、公立病院の役割を踏まえた作業を望む。市民病院玄関ポーチの倒壊は、原因を究明し報告すべきだ。



修正案賛成 原案反対

〔市民クラブ〕

コロナ禍の閉塞感から一歩踏み出した予算だが、4,000万円で雪を首都圏に運ぶ雪資源活用事業は、コロナ禍での市民、事業者への継続支援や、今冬の豪雪での克雪施策と支援の必要性を考えるとどうか。また雪を受け入れる競技開催地は、第4波が懸念され、競技の安全実施を願う中で、市のPRに絶好の機会とはいえず、そこに入り込める状況ではないと思う。したがって当初予算から雪資源活用事業を除き、今後の経済支援や雪冷熱エネルギー利活用研究の補正財源にすべきだ。

修正案反対 原案賛成

〔未来創政会〕

限られた財源で最大の効果が求められている。人口減少対策で出産応援緊急5か年事業、子ども医療費助成の拡充、こども家庭サポートセンターの新設、高齢化社会に対応する介護人材確保緊急5か年事業など評価したい。新型コロナウイルスワクチン接種の円滑な推進を求め、地域の産業経済を守るため、スピード感を持った中での執行を期待する。誰もが幸せな社会をめざし、ポストコロナの新時代に大きく前進することを期待し、賛成とする。

修正案反対 原案賛成

〔南魚みらいクラブ〕

喫緊の課題に取り組んだ大きな目玉として、「出産応援緊急5か年事業」「介護人材確保緊急5か年事業」「イノベーション推進事業」は大いに評価する。移住定住の促進、子育てや教育環境の充実、持続可能な医療、福祉のまちづくり、豊かな自然を活かした力強い産業のまちづくりなど、健全な財政に取り組んだ令和3年度一般会計予算は、各事業の位置づけ、方向性、優先度を判断し、限られた財源の効果的な活用に努めた予算であると判断して賛成する。

修正案反対 原案賛成

〔歩む会〕

雪の利活用の予算について、修正案が出されたが、オリ・パラの開催を考えれば、逆にこれが重要なところで、今後につながり花開くものと考ええる。修正案を出さない反対者もいるが、予算に対して賛成の部分も多いため、どこが反対なのか修正案を出して議論すべきだ。多くの質疑や提言が出された。執行部はこれを重く受け止めてもらいたい。今年度は医療対策特命の副市長を迎え、病院改革にも取り組むということ、非常に期待している。

社会厚生委員会

審査報告(抜粋)

(令和3年3月3日)

Q & Aは一部のみを掲載しています。

◇第10号議案「令和3年度南魚沼市国民健康保険特別会計予算」

Q 県の平均や近くの自治体と比べると、南魚沼市の国民健康保険税は高い。場合によっては今の納付金額より上がることになるのか。

A 新型コロナウイルス感染症で皆さんが苦しんでいる中で、できればそうならもらいたくない。試算を細かくやっていき、年度内は何とかしていきたく思っているが、約束はできない状況である。

●全会一致で可決

◇第11号議案「令和3年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計予算」

Q 7・75割軽減から7割軽減になり、700万円ぐらい影響があるということであるが、実際に納めている人たちには影響はあるのか。

A 令和2年度は年額9,090円だったものが、令和3年度に年額1万2,120円になり、差額が3,030円である。軽減されている人だけなので、全員というわけではない。

●全会一致で可決

◇第12号議案「令和3年度南魚沼市介護保険特別会計予算」

Q 保険者機能強化推進交付金について、今年度は昨年度より減っているが、取組の評価が落ちたのか。

A 令和2年度から保険者機能強化推進交付金と努力支援交付金が設立された。国から様々な調査が来て、その成績や第1号被保険者の人数等によって交付額が決まってくる。保険者機能強化推進交付金だけを見ると下がっているが、努力支援交付金も入ってきているので、全体の金額としてはむしろ増額となっている。

●全会一致で可決

◇第13号議案「令和3年度南魚沼市城内診療所特別会計予算」

Q 歳出の総務費、医業費について、委託を見直して減額となり、努力をしている。こういった点で節約ができたのか。

A 経費がかかる部分を見直し、外部委託を減らすなどを行い、減額することができた。国からあまり

外注をしないようにという指導があり、極力、院内で完遂できるように見直している。

●全会一致で可決

◇第15号議案「令和3年度南魚沼市病院事業会計予算」

Q 寄附講座で内科に常勤医師を呼び、非常勤医師の報酬、旅費を減らすということだったが、非常勤医師給料は令和2年度より2,000万円増えているが。

A これから常勤医に結び付けようと、研修医とそれを指導する立場のシニアと呼ばれる医師が来ており、シニアが若干、増える見込みのためである。

●全会一致で可決

産業建設委員会

審査報告(抜粋)

(令和3年3月4日)

Q & Aは一部のみを掲載しています。

◇請願第1号

「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める」意見書の採択を求める請願書

◆賛成少数で不採択

◇第14号議案「令和3年度南魚沼市水道事業会計予算」

Q 来年度から浄水場は一系列運転となるが、維持管理に問題はないか。

A 油対策には検知器を設置し、濁水には、非常用水源井戸で対応する。今後は一系列運転の中で、万全を期したい。

◆賛成多数で可決

◇第16号議案「令和3年度南魚沼市下水道事業会計予算」

Q 農業集落排水の流域下水道への統合による維持管理費の節減効果はどのくらいか。

A 新年度、中之島地区の3処理場を統合するが、この年間の維持管理費が4,500万円、統合後の流域下水道の負担金は2,000万円程度となり、年間2,500万円ほどの効果があると考えている。

◆賛成多数で可決

第39号議案	令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第15号）	可決（全会一致）
第40号議案	南魚沼市教職員住宅条例の一部改正について	可決（全会一致）
議案番号	動議	議決結果
第9号修正案	令和3年度南魚沼市一般会計予算に対する修正案（提出者：寺口友彦）	否決（賛成少数）
議案番号	請願・陳情	議決結果
請願第1号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める」意見書の採択を求める請願書	不採択（賛成少数）
議案番号	議員発議案	議決結果
発議第1号	南魚沼市議会会議規則の一部改正について	可決（全会一致）
発議第2号	新型コロナウイルス感染症を市民とともに乗り越える共生社会実現のための決議について	可決（全会一致）

賛否一覧表

起立採決等によりそれぞれの賛否が明らかにされ、かつ、賛否が分かれた議案について詳細を表示しています。

○=賛成 ×=反対 -=退席 欠=欠席

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長採決となります

議案	南魚みらいクラブ						歩む会				未来創政会				市民クラブ			日本共産党議員団				
	目黒哲也	吉田光利	塩川裕紀	清塚武敏	小澤実	黒滝松男	関常幸	勝又貞夫	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	阿部久夫	大平剛	永井拓三	桑原圭美	中沢一博	梅沢道男	田中せつ子	佐藤剛	寺口友彦	中沢道夫	岡村雅夫
第9号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
第9号修正案	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×
第10号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第11号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第12号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第14号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第16号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
第23号議案	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
請願第1号	×	×	×	×	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○

発議第2号

新型コロナウイルス感染症を市民とともに乗り越える共生社会実現のための決議について

◇内容（抜粋）

①新型コロナウイルス感染症をはじめめとする、ウイルス等感染者とその家族及び接触者にいわれなき偏見や差別により、それらの方が住みづらくなるような言動は厳に慎むこととする。

②医療関係者をはじめ、同感染者と関係する仕事に従事される方々に敬意を払い、感染拡大防止に奮闘するすべての事業者の皆さんに対する感謝の気持ちを忘れないこととする。

③同感染者と関係者が勤務または利用した施設や事業所に対し、偏見を誘発・助長するような差別的な取り扱いや言動は厳に慎むこととする。

④市行政関係者は個人情報に十分に配慮しつつ、前述①、②、③が確実に実行されるよう広報・啓発に努めるものとする。

●全会一致で可決

令和3年3月定例会の全議決結果

議案番号	市長提出議案	議決結果
第2号報告	専決処分した事件の承認について（令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第13号））	承認（全会一致）
第3号議案	令和2年度南魚沼市一般会計補正予算（第14号）	可決（全会一致）
第4号議案	令和2年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第5号議案	令和2年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算（第4号）	可決（全会一致）
第6号議案	令和2年度南魚沼市城内診療所特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第7号議案	令和2年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第3号）	可決（全会一致）
第8号議案	令和2年度南魚沼市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第9号議案	令和3年度南魚沼市一般会計予算	可決（賛成多数）
第10号議案	令和3年度南魚沼市国民健康保険特別会計予算	可決（賛成多数）
第11号議案	令和3年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計予算	可決（賛成多数）
第12号議案	令和3年度南魚沼市介護保険特別会計予算	可決（賛成多数）
第13号議案	令和3年度南魚沼市城内診療所特別会計予算	可決（全会一致）
第14号議案	令和3年度南魚沼市水道事業会計予算	可決（賛成多数）
第15号議案	令和3年度南魚沼市病院事業会計予算	可決（全会一致）
第16号議案	令和3年度南魚沼市下水道事業会計予算	可決（賛成多数）
第17号議案	南魚沼市無電柱化推進基金条例の制定について	可決（全会一致）
第18号議案	南魚沼市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第19号議案	南魚沼市税条例の一部改正について	可決（全会一致）
第20号議案	南魚沼市国民健康保険税条例の一部改正について	可決（全会一致）
第21号議案	南魚沼市手数料徴収条例の一部改正について	可決（全会一致）
第22号議案	南魚沼市国民健康保険条例の一部改正について	可決（全会一致）
第23号議案	南魚沼市介護保険条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第24号議案	南魚沼市道路占用料徴収条例の一部改正について	可決（全会一致）
第25号議案	南魚沼市都市公園条例等の一部を改正する条例について	可決（全会一致）
第26号議案	南魚沼市市営住宅条例の一部改正について	可決（全会一致）
第27号議案	南魚沼市市有住宅管理条例の一部改正について	可決（全会一致）
第28号議案	南魚沼市保育園条例の一部改正について	可決（全会一致）
第29号議案	南魚沼市指定地域密着型サービスの事業に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
第30号議案	南魚沼市指定地域密着型介護予防サービスの事業に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
第31号議案	南魚沼市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
第32号議案	南魚沼市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
第33号議案	市道の路線認定について（天王町大久保3号線、伊勢町国道線）	可決（全会一致）
第34号議案	市道の路線変更について（小黒沢線、一村尾・名木沢2号線）	可決（全会一致）
第35号議案	市道の路線廃止について（塩沢中央団地線）	可決（全会一致）
第36号議案	浦佐認定こども園の指定管理者の指定について	可決（全会一致）
第37号議案	財産区管理会財産区管理委員の選任について（大字塩沢財産区）	同意（全会一致）
第38号議案	令和2年度南魚沼市下水道事業会計利益の処分について	可決（全会一致）

一般質問

Q & Aは一部のみを掲載しています。

質問順位

1. 吉田 光利
2. 佐藤 剛
3. 勝又 貞夫
4. 清塚 武敏
5. 中沢 道夫
6. 塩谷 寿雄
7. 目黒 哲也
8. 中沢 一博
9. 桑原 圭美
10. 梅沢 道男
11. 岡村 雅夫
12. 阿部 久夫
13. 大平 剛
14. 永井 拓三
15. 塩川 裕紀
16. 寺口 友彦
17. 田中せつ子



一般質問とは・・・

議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いただすもの。

各議員の氏名の下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。



南魚みらいクラブ

吉田 光利

職人不足に対し行政としての支援策は

答 引き続き国・県の動向を注視しながら検討したい

小規模事業主の実情を聞くこと、職人は60代が主力で70代も珍しくない実態である。横の繋がりで「職人の会」を立ち上げることや、実際の生の声の調査が必要ではないか。

Q 質問 製造業連携の会でも発言を聴いていて、政策化を考

A 市長 えている。「職人の会」は、立ち上げるべきと思う。市長として皆さんと会う機会にはアンテナを張って生の声を聴いている。

Q 質問 事業主に対し技能・免許・資格等の取得や安全対策に対する設備投資への支援があつてもと考えるが、市の考えは。

A 市長 個人の資格であり難しい面もある。様々な団体や業界からの政策要望を含め検討し

たい。
労働者がかなり不足するということ、2019年4月から外国人特定技能受け入れが始まったが、南魚沼市での変化は。
A 産業振興部長 コロナ禍で変化は読み取れない。
Q 質問 人口ビジョンで示されている「国籍にかかわらずだれもが暮らしやすいまちづくり」の具体策は。
A 市長 日本人と変わらない暮らし、行政インフラの公平性を考えている。
Q 質問 新卒の就職は保護者の心をつかむことが大事であり、他の自治体を参考に市、ハローワーク、学校と連携し保護者だけの職場見学を考えてはどうか。
A 市長 連携について「なるほどな」と思うところもあり、どういったことができるか考えたい。





市民クラブ

佐藤

剛



市民の安心のための医療体制をどう進めるか

答 医療対策推進本部で検討をしながら進める

Q 質 問 病院運営が財政的に厳しい中で、自治体病院の役割である市民の安心の医療か、継続する医療提供のため病院経営の安定か、比重の置き方で検討の方向も変わるが、どういう医療体制をめざすか。

A 市 長 医療と経営安定の両方を図るが、病院への繰入がこのまま続けば、市財政に大きな影響が及び危機的状況になると認識している。

Q 質 問 医療対策推進本部では、病院運営の検討を進めているが、地域完結型医療体制に必要な大和病院の改修改築、城内診療所の存続も含めた今後の在り方、医師確保の検討は進んでいるか。



歩む会

勝又貞夫



大型図書館運営の工夫・改善は進んでいるか

答 今後も市民の声を聴きながら、改善につとめる

Q 質 問 大型図書館として開館した当初、日本一の図書館を目指してスタートした。開館から7年目になるが、現状での自己評価はどうか。

A 市 長 利用マナーの向上、展示の増加、読書通帳の発行などに努めてきた。当市の図書館の特徴は、児童図書が充実していることで、貸出図書の約40%を占めている。義務教育期の読書の習慣が学力向上や人間形成に非常に重要と考えている。

Q 質 問 大型図書館として開館した当初、攻める図書館として、情報の収集のみならず、情報の公開・発信に努めるという考え方があったが、今もその考え方に

変わりはないか。
SNSの活用などを含め、様々な方法で情報を発信し、定期的に更新していきたい。

市民からの投書は適切に公開せよ

答 可能な限り誠意を持って回答し公開している

Q 質 問 市民から市政に向けて行われる投書の回答や公開は、適切に行われているか。投書に対して、数か月の間、何の回答も通知もないという市民の声がある。公開が3か月遅れることの情報は何か。

A 市 長 住所・氏名、メールアドレス等の記載のあるものはすべて回答している。ただ、コロナ禍や食事券などのように、投書が集中すると回答が困難な場合もある。

A 秘書広報課長 公開についてはできるだけ早くするように努めたい。



南魚みらいクラブ

清塚武敏



除雪対策の充実で市民の暮らしをどう守るか

答

行政にとって大きな仕事であり、人材確保が大きな課題だ

Q 問

① 来年より墜落制止器具の着用が厳格化される。住宅屋根雪おろしを行う際の安全確保をどう進めていくのか。

② 雪処理の担い手、業者を含めた労働力、ボランテア等の安定確保が、地域ごとに必要では

③ 消雪パイプ路線でも、水量不足等で十分な消雪ができない場合がある。機械除雪併用による柔軟な除排雪が必要でないか。

④ 除雪費の安定確保を国、県にどう働きかけていくのか。

A 市長

① これからも安全な除雪作業の啓発、注意喚起を行っていく。命綱固定器具、アンカー設置も、導入に向けた検討をする。

② 人材確保は大きな課題と捉えている。現状では建設業協会など

の関係団体と連携して人材確保につながるよう取り組んでいく。

③ すべての路線は困難であるが、地元行政区からの要請により、道路パトロールなどできる限り対応していく。

④ 市だけでなく魚沼圏域の市町村、北信越市長会など関係機関と連携して、雪国の実情と財政支援の充実に向け、中央省庁に要望し、実情の声を届けていく。

市民バスの目指す姿は何か

答

地域が主体となった公共交通を目指す

Q 問

利用者数・収益率ともに低い。地域を巻き込んだ運行見直しや利用促進をどう進めるか。

A 市長

各コースの検証、利用ニーズ把握など要望を改善しながら、地域が主体となった公共交通の見直しを行う。



日本共産党議員団

中沢道夫



新型コロナウイルス感染症対策は市独自の助成を行っている

答

PCR検査の抜本的拡充について、専門家の提言を踏まえた厚労省通知に沿い、南魚沼市も「高齢者施設、医療機関での職員も含めた積極的な検査」に踏み出すべきではないか伺う。

Q 問

限られた検査可能数を有効に活用するには、症状のない集団にPCR検査をすることは必要な人の検査の遅延にもつながりかねない。事業者や地域の高齢者施設内の感染拡大の不安軽減を図るため、市独自の助成を行っている。

A 市長

医療機関の減収支援と医療対策について、新型コロナウイルス感染症の影響で、全国的に多くの医療機関が、感染拡大防止対策に経費がかかっている上、大幅減収で苦労している。令和2年度の市民病院の純損失が拡

Q 問

大した要因は全国同様新型コロナウイルス感染症の影響だと考えるが、市長の見解を伺う。

A 市長

病院経営における構造的な問題がある。さらに新型コロナウイルス感染症による患者数の減少により減収になっている。現在、医療対策推進本部、タクスフォースを立ち上げ、改善を図っていく。

Q 問

市民病院経営改善の議論では、市民病院が市民の健康や命を守るためにどういう役割を果たすのかをまずしっかり議論してもらいたい。病院の経営効率優先の話にならないようにということを指摘しておきたい。市長の考えを伺う。

A 市長

医療対策推進本部では、市民の健康や命をないがしろにするような、効率優先の話は一切出していない。病院事業の経営として、収益につながらなくても必要な医療を提供する。



歩む会

塩谷 寿雄



南魚沼市が抱える医療の経営改善について問う

答 医療対策推進本部、タスクフォースで改善に向ける

Q 質 問 市民病院の経営改善策で新年度取り組めることがあるか。

A 市 長 経営改善について6月を以て方針を出していく。総務省と地域医療振興協会とのモデル事業、公立病院医療提供体制確保支援事業に手を上げる。採択されれば支援を受けることができる。

A 市 長 短期、中期、長期で考える必要がある。コスト削減に向けた契約の変更と、各分野からの提案を受けながら進めている。

Q 質 問 城内診療所には4,000万円の一般財源が入っている。一日の患者数の見込みは平均25人であり、いつかは分岐点がある。いきなり辞めることは

できないので、ビジョンを持って動くべきではないか。今は内科のみだが、整形外科の医師も一日置など患者を呼べる可能性はまだある。または廃止し特別にバスを出し市民病院、大和病院に行ってもらうなど、今後の対策をどう考えるか。

A 市 長 まさに今言われたことについて考えていく。

Q 質 問 看護師修学資金貸与の制度はあるが、助産師は対象ではない。助産師を目指し当市に戻ってくる方の制度の改善について問う。

A 市 長 地域医療という観点や、若者が帰ってくるという観点から、寛大な思いで制度の改善を前向きに検討していく。



南魚みらいクラブ

目黒 哲也



市民病院の経営状況は

答 財政状況は予断を許さない状況である

Q 質 問 来年度は資金不足に陥る可能性があるのか。

A 市 長 来年度の市立病院予算は、地方財政法の規定に基づくと資金不足が生じると危惧している。まずは、新公立病院改革プラン5か年計画を検証し、これまでの経営構造を見直さないと、資金不足はこれからも増していく。

Q 質 問 来年度予算をみると、キヤッシュ・フロー計算書では、資金期末残高が大幅に減少しているが、今後の資金繰りはどうしていくのか。

A 市 長 令和3年度の予算は、地方財政法に基づく資金不足比率は、5・1%になる。10%を超えると、起債許可企業となり、起債に当たっては国や県の許可が必要となってしまう。よって起債

の幅は、2億3,000万円くらいしかない。現在の支払いサイクルを延ばしたり、無駄な出費を抑えたり、また一時借入金でしのぎながら資金繰りを考えていかなければならない。

デジタル地域通貨の導入は

答 地域経済の循環に有効と考える

Q 質 問 市内のポイントカードを統一、また健康ポイントやボランティアポイントなどを加算できるデジタル地域通貨は地域経済の活性化になると思うが。

A 市 長 経済支援策、各種ボランティア、環境保護などを統合し、医療と福祉のまちづくりと連動していきたい。現在、関係部署の職員を集め、導入に向けた勉強会を始めた。



未来創政会

中沢 一博



コロナ禍で、生活・経済を支える切れ目ない対策を

答 早急に十分検討する

Q 質問 ①ポストコロナに向けた具体的経済追加支援策を。

②社会的孤立の防止に向けた相談体制の強化と弁護士無料相談体制の拡充を。

③特定処遇改善加算の取得促進を含め、ポストコロナも見据えた介護人材不足の処遇改善の推進を。

A 市長 ①今後も経済支援には力を入れて限界までやっていくべきである。早急に十分検討し進めたい。

②相談内容は複雑化している。各部署の連携とその体制の強化を進めなければならない。弁護士の無料相談は、所得等の一定の要件を満たす場合は、必要に応じて紹介している。

③この制度を周知した中で、適切な情報提供を行い、取得促進を

働きかけたい。介護人材の確保については、5か年計画で強い思いでやりたい。

行政のデジタル化の推進を

答 力を入れていく

Q 質問 デジタル社会の構築は、ポストコロナにおける経済成長の源泉である。「人に優しいデジタル化」「誰一人取り残さない」を基本理念としている。マイナンバーカードの取得の促進、スマートフォンを活用した行政証明の発行、情報弱者への支援の取組はどうか。

A 市長 マイナンバーカードの取得は、この1年で急激に増加した。日曜日、平日の時間外窓口を増やし、人的配置などに力を入れ、体制強化を図っている。スマートフォンで申請できるというシステムは、まだ開発中の段階にある。情報弱者については、やり方や手順を伝えることが大事と考える。



未来創政会

桑原 圭美



コロナ禍の教育環境と市民の暮らしをどう守るのか

答 それぞれの担当部署が連携して対応する

Q 質問 全国一斉の休業措置による児童・生徒・家庭への影響を詳しく把握したか。また、それを今後、効果的に生かせるか。

A 教育長 一斉休業時には、学童保育の受け入れを拡充し、支援が必要な家庭には経費を支給している。ストレスによるいじめや不登校などは見られないが、学習と生活の両面から注意深くその影響を把握して、早期の対応を行うよう取り組みたい。

Q 質問 医療費、出産費用、妊産婦の産後ケアなど、子育て世代への支援策をどのように考えているか。

A 市長 新規事業および拡充事業として、子どもの医療費助成を18歳到達年度末まで拡充す

る。出産応援緊急5か年事業として、出生祝い金を支給する。妊産婦医療費助成については、申請期限の延長や郵送による申請の推奨を行っている。新年度の6月から県内医療機関の窓口で直接精算ができるよう準備を進めている。

出産応援緊急5か年事業 (令和3年度から7年度)

	支給額
第1子	12万円
第2子	15万円
第3子以降	20万円

子どもの医療費助成期間の延長
中学卒業まで
➔18歳到達年度末まで

Q 質問 大学、短大、専修学校等の修学支援をどう考えるか。

A 市長 就学援助の対象者が増加することを想定し、新年度予算を編成している。進学の意欲と能力がありながら、経済的な理由で断念することのないように、必要な支援を継続していく。



市民クラブ

梅沢道男



命綱固定アンカー設置補助金制度の創設を

答 実施に向けて検討を進めたい

Q 質 問 県は、令和3年度に屋根雪処理の命綱固定アンカー設置の補助制度を盛り込むが、当市も除雪事故対策として、県と連動した補助制度を早急に整備する必要があると考えるが、市長の考えを伺う。

A 市 長 今後、県の補助金交付要綱の確定を受けたうえで、実施に向けて検討を進めたい。

Q 質 問

市は自力による屋根雪除の除雪支援を行っているが、支援世帯には一般の補助事業だけでなく、一歩進んだ対応が必要と思うが、考えを伺う。

A 市 長

現在は、雪掘りのいらぬ家が非常に増えた。リフォームという考え方の中に組み入れていけないか考えたい。

教師の多忙化解消に向けた取組の推進を

答 多忙化解消には真摯に取り組んでいく

Q 質 問 教師の多忙化解消に向け国の指導に基づいた当市の「方針」を策定し、学校の管理規則に勤務時間の上限規定を追加すべきと思うが、考えを伺う。

A 教 育 長 当市の方針は、3月の教育委員会の会議に諮るが、規則の制定は、県内市町村の状況に注目しながら、検討を継続していく。

Q 質 問

魚沼地域内で管理規則を改正していない市は、南魚沼市だけだ。職員に、規則改正に取り組む姿勢を見せることも大事ではないか。

A 教 育 長

規則を定めるには、実効性を持たせることが必要であり、今後前向きに検討して、改正に向けて進みたいと考えている。



日本共産党議員団

岡村雅夫



市民病院玄関ポーチ倒壊は証拠保全し調査すべきでは

答 開設者の責任を問われれば配慮が足りなかった

Q 質 問 玄関ポーチが傾斜直後、除雪作業を続行する前に積雪状況の調査を、解体・撤去作業の前に損傷個所の証拠保全を指示するべきであったと思うが。

A 病 院 事 業 管 理 者 真っ先に安全確保を考慮し、正面玄関を封鎖し、感染発熱外来の入口を臨時に確保した。早急に正面玄関を復旧するために、業者へ傾斜した玄関ポーチの雪下ろしと玄関ポーチの撤去をお願いした。今となっては、証拠物件を残しておかなかったことに對して申し訳なく思っている。

Q 質 問

市長は開設者として管理・判断が悪かったのではないか。

A 市 長

まず何より作業員の無事を確認し、巻き込まれた方

はいなかったかを心配した。そして外来患者のことを考え、一刻も早い復旧を優先した。当時は、積雪調査や証拠物件のことは考えもしなかった。その点について開設者として責任を問われれば、私に落ち度があったかもしれない。

Q 質 問 設計者、施工業者、使用者等の責任が問われると考

A 病 院 事 業 管 理 者 適正な設計であり、それに基づいた構造計算等が行われて、施工されているので、設計者や施工業者には、過失はないと認識しているが、第三者に確認を依頼している。使用者として、融雪施設の事前点検を行ったが、不具合はなかった。しかし連続した異常な降雪によって、地下水位が下がり、散水量が低下したことが考えられ、今となれば、耐積雪深よりも早い段階で対策を講じれば、今回の事案を防ぐことができただのではないかと反省している。



歩む会

阿部 久夫



今後の農業政策は

答 国や県の支援策を最大限活用していく

Q 質問 今後の需要に応じた米生産をどう捉えているか。

A 市長 約130ヘクタール、およそ1万俵の主食用米を非主食用米へと転換を予定している。なお、主食用米と変わらない所得が得られると試算している。

Q 質問 中山間地耕作者の支援は。

A 市長 10年後を見据え、農業法人等の活動組織を作り、地域の将来プラン策定を支援していく。

Q 質問 農地集積に向けて農地提供者の支援は。

A 市長 支援の制度は5年度で終了するため、支援策がないのが現状である。新たな制度が創設されたら、いち早くお知らせする。

Q 質問 小規模農業者や新規就労者の支援強化を。

A 市長 助成事業を継続しながら、国や県に支援強化を強く訴えていく。

防災士の養成は

答 活躍の制度の確立が難しいが、調査・研究していきたい

Q 質問 自然災害が多発している中、地域防災力の向上を図っていくためにも人材育成を進めていくべきと考えるが。

A 市長 防災士は個人の資格であり、難しい面もあるが、救命士養成講習会を行っているので、併せて、防災士の養成講習会を検討してみる。

防災士とは・・・

自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を習得したことを日本防災士機構が認証した人。



未来創政会

大平



10年先を見据えて除雪・克雪の方策を

答 大きなテーマであり、一生懸命取り組んでいく

Q 質問 市道除雪の現状と今後の方策は。

A 市長 現在、市道除雪の計画では、約289キロメートルを貸与・委託車両合わせて119台、オペレーター数279名で行っている。除雪のイメージアップのため、除雪の出陣式に加え、ニイガタ除雪の達人選手権が140名の子どもたちを招待して行われた。

安定的な除雪体制の確保は、国・県と共通の課題だと考えている。例えば、待機料を含めた除雪経費の積算等いろいろ上がっている。市道だけが完備されてよいわけではないので、全体でやっていくことだと思つ。

大雪による建物被害状況

令和3年4月2日現在

分類	全壊	半壊	一部損壊	その他	合計
住 家	1	0	23	0	24
非 住 家	3	1	12	0	16
集合住宅	0	0	0	0	0
合 計	4	1	35	0	40

南魚沼市ウェブサイトより

Q 質問 住宅除雪援助の現状は。

A 市長 ここ数年は、災害級の大雪がなく、除雪が間に合わず屋根が破損するケースは見られなかったが、今年の冬は特異な集中豪雪により除雪業者が間に合わない事例や、屋根が破損したという報告も多数聞いている。市も民生委員・行政区長と連携し対応した。



未来創政会

永井拓三



大雪によるJRの運休等に市が取り組めることは

答 JR関係者との会議で市としての考えを伝える

Q 質問 JRに対して公共交通を担うために必要な支援をすることはできないのか。

A 市長 1つの自治体がJR東日本という大きな企業の経営内容に対して支援を行ったとしても、これは言責ではないというふうに思う。市町村と連携し、国を通じて働きかける方法が効果的だと考える。

Q 質問 市による代替輸送の支援等ができないのか。

A 市長 自治体がまずは行うべき支援という大きな広義の意味から言えば、豪雪時の輸送道路の確保、しっかりとした除雪体制の維持が我々の本当の意味の支援策ではないかと考えている。

今後の除雪体制について問う

答 将来的な道路除雪は機械除雪を中心に

Q 質問 新規の消雪パイプ設置路線の予定はあるか。
A 市長 基本的に消雪パイプの新設は行わない方針だ。

Q 質問 ロードヒーティングなどの技術の採用予定はあるか。

A 市長 六日町地域の市街地は地盤沈下という本場に大きな問題もあるので、有効な新技術の開発には、今後もいろいろなことを注視して取り組むことがあれば、果敢に攻めていくことも必要だと思う。

Q 質問 機械除雪の場合は将来的にどのような人員確保に当たるか。企業支援策はあるか。

A 市長 我々はそういう意識を持って取り組んでいくことではないかと思う。



南魚みらいクラブ

塩川裕紀



集中豪雪による家屋屋根破損に対する支援は

答 精査は必要だが協議を続けた

Q 質問 昨年末からの集中豪雪は、屋根の雪下ろしを請け負っている業者の方々に、作業の依頼が同時に殺到したため、作業が間に合わず、屋根が破損してしまった家屋が多数見受けられる。そこで、業者に頼らざるを得ない高齢者世帯、要配慮世帯に対し、屋根修繕費の助成が必要と考えるが、市長の見解を伺う。

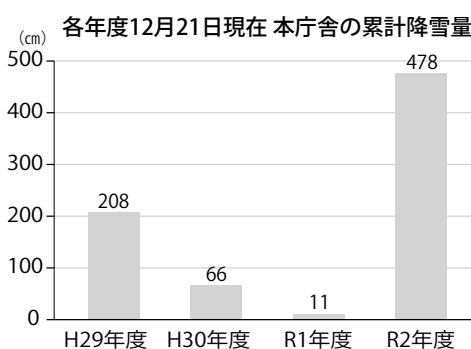
A 市長 市が委託している社会福祉協議会の暮らしの相談窓口にて、相談していただくこともあるのではないかと思います。

災害救助法が適用されない中で、高齢者世帯・要配慮世帯に特化した雪害による修繕費は支給要件等の課題もあることから、今後十分な議論が必要だと思う。最後に寄るべきところは行政だ

と思うので、福祉の観点からこれまでができるか、今後協議を続けさせてもらう。



今冬の雪下ろしの様子



※南魚沼市は令和2年12月21日に集中降雪による災害対策本部を設置しました。



市民クラブ

寺口友彦



コロナワクチン接種券に 商品券をつけよ

答 地域振興的な商品券を別途用意の考えだ

Q 質

3週間以内に2回接種しないと効果が薄いと言われている。健診や保健指導を先送りしてでも接種を完了するには動機づけが必要だ。接種クーポン券に商品券をつけて接種を勧奨する考えはないか。

A 市長

商品券に注目が集まりすぎで、ワクチン効果または副反応を軽視し予診に影響することも勘案しなければならぬ。基礎疾患症状により、接種不相当となつて受けられない方は不利益になる。市は入浴券とのセットを考えている。商品券は違う角度から切り込んで考える。免疫をつけることが動機づけになる。接種促進のために何をするかはさらに考える。

市道舗装の打ち直しをせよ

答 計画通りに進めるがなかなか難しい

Q 質

運転免許返納で、シルバーカーや杖に頼りながら歩行移動する方が増えている。機械除雪で道路の傷みが目立っている。災害に強い安全・安心なまちづくりとして、避難移動の際に必要な修繕を急ぐべきだ。計画的な修繕は前倒しをしてでも進める必要があるかどうか。

A 市長

地元からの要望を中心に、約82キロメートルにも及び修繕を計画的に進めているが、路線が多く、補修が追い付いていないのが現状である。実情は把握しているが、莫大な工事費がかかる。防災や福祉など違う視点を持った計画の再検証はあり得ると思うので、課題とし取り上げたいと考えている。



市民クラブ

田中せつ子



冬場の安心・快適な生活環境づくりは

答 行政の大きなテーマとして必要ときに必要な支援を行う

Q 質

①高齢者や要配慮者世帯などへの住宅除雪援助事業の拡充を。
②有償の除雪ボランティアを募集して危険な空き家にも対応を。
③水量不足の消雪パイプは修繕を進めるか。
④高齢者の安全な活動が守られるように歩道除雪拡充を。

A 市長

①大原則は変えないが、必要と認められる世帯には対応する。
②空き家は個人財産であり、行政もボランティアも対応できない。
③優先度と緊急性をみて消雪パイプを修繕し有効利用する。
④通学路が最優先だが、国や県と連携し、小型除雪機を増強して高齢者の生活も支援する。

持続可能な交通施策の充実は

答 様々な視点をもって、一生懸命取り組み

Q 質

①大和地域からの市民病院の受診は乗り継ぎが不便だ。大和病院と市民病院を直通で結ぶ市民バスの巡回コースを検討するか。
②高齢者の運転免許自主返納支援事業の見直しや事業拡充が必要と思うが検討は。

A 市長

①乗り継ぎの利便性向上のため、ニーズ調査が必要と考える。路線バスと市民バスのダイヤ見直しやアクセス強化と経路見直しを検討する。
②事業の拡充には限界がある。タクシー券はふるさと納税の返礼品に加えた。市民バスと路線バスの有効な回し方を検討し充実を図る。

総務文教委員会 管内調査

期日：令和3年1月25日(月)

調査内容

① いじめ、不登校の実態と対応について

学校や教育委員会では、いじめの早期発見と不登校への早期対応を心掛けながら、情報共有して取り組んでいます。小学校では、令和元年度からいじめが急激に増加しています。これは、さまざまなトラブルもいじめと認知することとなったためです。中学校では、わずかではあるが減少傾向にあります。今後はSNSなどのネットいじめの増加が予想され、注意深く対応を続けています。

不登校については、小学校、中学校ともに、多少の増減はあるがほぼ横ばいの状況です。なお、新型コロナウイルス感染症による不登校への影響は、現段階では特に確認されてはいません。

② 税収の現状と今後の見通しについて

税金の徴収猶予の申請は、ホテル・旅館業、飲食業、スキー場経営関連等の申請が、件数・金額ともに大きな比重を占めています。今のコロナ禍の状況では、今後の経済の好転・悪化は想定できません。

税収については、新型コロナウイルス感染症が大きく影響し、新年度の予測がむずかしい状態です。令和3年度における現年課税分の個人市民税、法人市民税、入湯税などは、中には好調な業種もありますが、一般会計全体では、前年度との比較で2億7,846万円の減収を見込んでいます。

産業建設委員会 管内調査

期日：令和3年2月4日(木)

調査内容

① 新型コロナウイルス感染症に係る基幹産業への影響について

プレミアム付き飲食・宿泊券の換金率は99.46%で、大変大きな経済効果が生まれています。農業は今のところ大きな影響は出ていません。農業は今のところ大きな影響は出ていません。製造業においても徐々に厳しい話を耳にしますが、逆にコロナ禍で業績を伸ばしているところもあると確認しています。今後この点については注視していかなければいけません。

② 雪割プレミアム旅行券の流通状況について

市内には197軒の対象施設があり、参加の呼びかけをしました。参加宿泊施設は、161軒、1軒当たり100冊を割当て、合計冊数は1万6,100冊で販売を開始しました。12月末までに販売した冊数は、1,225件で6,775冊。そのうち1月17日までのチェックインは1,042件で、販売冊数に対する利用率は85%。利用状況はかなり伸びました。GOTOキャンペーンの停止、緊急事態宣言後の売れ行きは悪いという見込みです。

③ スキー場利用客について

昨年に比べると、どのスキー場も利用客数は多いが、一昨年と比べると6割から7割の利用客数です。1月は八海山スキー場の閉鎖や、緊急事態宣言で首都圏からの利用客がかなり減っていることから、まだまだ厳しい状況ではないかと感じています。

社会厚生委員会 管内調査

期日：令和3年2月2日(火)

調査内容

① 新ごみ処理施設建設の進捗について

新ごみ処理施設建設の候補地の選定については、大きな進展はありませんでした。今年度は市民のごみ処理、新ごみ処理施設についての関心を高めていくことが課題のひとつでした。市報にて9月から12月まで4回にわたり、「新ごみつうしん南魚沼」を掲載しました。また、環境衛生センターでフェイスブックの運用を開始し、情報発信を行いました。

※社会厚生委員全員の同意を得て、社会厚生委員会として新ごみ処理施設建設に関する緊急提言書を提出することとなりました。2月10日に、緊急提言書を市長に提出しました。

② 今後の医療対策について

医療対策推進本部が核となって進めています。昨年12月24日に医療対策推進本部を設置し、その下部組織として、6つのタスクフォースを創設しました。タスクフォースの内容は、医療のまちづくり検討委員会の提言にあった項目を区分けたもので、今後各タスクフォースで、具体的な検討を進めていきます。6つのタスクフォースの横の連携を取る組織として、合同戦略会議を設置し、情報共有、進捗状況の確認を行っていきます。

6月定例会 予告

次の定例会は5月31日～6月11日の予定です。

6月 議会カレンダー (予定)

この予定は変更になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

5月31日	月	本会議	7日	月	本会議 (一般質問)
6月1日	火	総務文教委員会	8日	火	本会議 (一般質問)
2日	水	産業建設委員会	9日	水	本会議 (一般質問)
3日	木	社会厚生委員会	10日	木	予備日
4日	金	休会	11日	金	本会議

傍聴のご案内

本会議は、9時30分から市役所本庁舎3階議場で行います。どなたでも傍聴できます(ただし、児童の傍聴には議長の許可が必要となります)。詳しくは、議会事務局 (☎773-6650) までお問い合わせください。

※現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴の際はマスクの着用をお願いしています。

表紙の写真は 塩沢商工高校 写真部が撮影しました

塩沢商工写真部は、文化祭で写真を展示すること、大会に出場することを目標に活動しています。昨年はコロナ禍で撮影会等に参加できませんでした。今年は十分に気を付けながら参加し、塩沢商工の写真部のすごさを他の地域の方に知ってもらいたいです。(3年生4名)



編集後記

コロナ禍により、2020年の1年間で、30兆円近くの国内総生産が失われ、20兆円規模で個人消費が減少し、経済においても、生活においても大きな影響を及ぼしました。

年が変わり、ようやく新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種が始まりました。非常に有効性が高いとされ、コロナ収束の切り札として期待が集まっています。しかし、接種が広く行われ、感染が収束して「日常生活」に戻るには、もう少し時間がかかりそうです。

現在、放映されているNHK大河ドラマ「青天を衝け」は、渋沢栄一氏が数多くの逆境に負けることなく立ち向かい、突き進んだ姿を象徴したものであり、また社会現象になった「鬼滅の刃」の竈門炭治郎は、過酷な現実を前にしても諦めず、大切なものを守るために仲間と共に戦い続ける姿が描かれており、この二人の主人公の姿は、きつと今を歩む私たちへのエールに違いないと感じてなりません。希望を持って、「全集中」で、コロナ禍を乗り越えて参りましょう。

目黒哲也

【お詫びと訂正】

南魚沼市議会だより第65号(2021年2月15日発行)8ページ「一般質問 寺口議員の質問」において一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

訂正前…市内産主食用米

訂正後…県内産主食用米

議 会 広 報 編 集 特 別 委 員	委 員 長	副 委 員 長	委 員	委 員	委 員	委 員
………	………	………	………	………	………	………
大平剛	梅沢道男	目黒哲也	吉田光利	中沢道夫	勝又貞夫	阿部久夫